

## 東院庭園「庭の宴」2015

東院庭園では2013年以来、月が美しい秋の夜に、奈良時代の宴の様子を再現する催し物を実施してきました。今年も10月3日に「庭の宴」と題し、宝亀8年(777)の出来事を再現した宴を催しました。

『続日本紀』によると、この年、楊梅宮の南池に、1本の茎に花が2輪咲くという珍しい蓮の花が咲いたそうです。この慶事を祝う宴席を想定して、宴を組みました。

まず、今年の正倉院展の出陳品の中から、彫石尺八と紫檀木画槽琵琶を取り上げ、雅楽演奏家の太田豊さんにそれらを模した楽器を演奏していただきました。その後、恒例の山部親王、後の桓武天皇やその生母、高野新笠が登場し、最後に東院庭園で咲いた双頭の蓮を命婦が献上するという流れで、天平時代の衣装と歌舞音曲を楽しんでいただきました。

奈良文化財研究所では、今後も東院庭園を場として、可能な限り当時の様子を忠実に復元する催しを続けていきたいと考えており、復原整備だけでなく、その活用にも取り組んでいきたいと考えています。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

(企画調整部長 杉山 洋)



彫石尺八の演奏



天平衣装